

平成 27 年度 日本老年看護学会生涯学習支援研修 基礎編【関西】 報告

開催日時 平成 27 年 9 月 27 日(土) 13:20～16:15

会場 畿央大学 L101 講義室

参加者数 131 名 (会員 21 名、非会員 101 名：スタッフ 7 名と講師 2 名含む)

講師：1. 西 千亜紀先生(認知症看護認定看護師, 医療法人鴻池会 秋津鴻池病院)

2. 柴田 明日香先生(老人看護専門看護師, 市立豊中病院看護部)

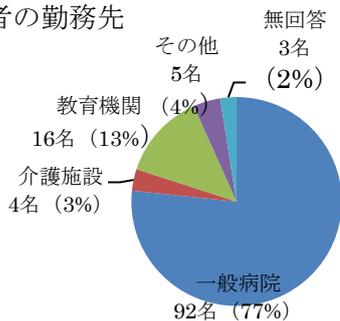
内容：1. 認知症高齢者の基礎知識とアセスメント

2. 急性期病院の認知症高齢者に対するケアの倫理と実際

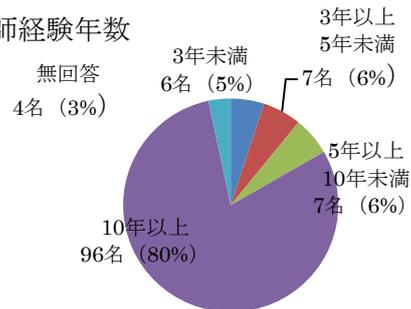
アンケート結果(回収数 120 件)

1 参加者の概要

1) 受講者の勤務先



2) 看護師経験年数



3) 今回の研修をどのように知ったのか(複数回答)

ポスター (6)、学会 HP (20)、学会メール (17)、学会ニュースレター (16)、
上司の紹介 (39)、同僚の紹介 (8)、学会関係者紹介・FAX (10)、

4) 受講動機について(複数回答)

テーマに関心があった (105)、講師に関心があった (20)、上司の勧め (20)、
参加費が安かった (20)、会場がアクセスしやすかった (11)、知人の勧め (5)、

2 研修会について

1) 研修会は期待通りであったか

期待通り 45 (37%)、まあ期待通り 61 (50%)

- ・せん妄予防のため内服、内服時期、アセスメント方法について大変勉強になった
- ・ボリュームが大きすぎて短時間の講義では、もったいないと思いました

2) 老年看護における看護師の生涯学習支援について

非常に必要 83 (69%)、まあ必要 29 (24%)

3) 今後も本学会の研修会に参加したいか

とても参加したい 65 (54%)、まあ参加したい 44 (37%)

4) 感想・要望

- ・急性期病棟での認知症患者への対応。
- ・最後まで的人生、尊厳ある人生を送るために、看護師のできること

5) 今後取り上げてほしいテーマ

- ・せん妄ケアや身体拘束について

講師の先生方には、認知症看護の基礎知識と共に、認知症看護の実際や倫理的側面について教えていただきました。身近な事例から看護を振り返る内容であり、臨床でもすぐに実践できる内容でした。遠方からの参加者も多く、今後も日本老年看護研修を継続的に実施していきたいと考えています。(生涯学習支援研修 基礎編担当)